

2019年度事業計画

フォレスト（就労移行支援）

シード（自立訓練（生活訓練））

フォレスト（就労移行支援）／シード（自立訓練（生活訓練）） 平成31年度事業計画（案）

1. 運営方針

- ① 利用者の人権と自己決定を尊重した支援を行う。
- ② 利用者の適性、個性を大切にし、生きがいを持って働くことができるように支援する。
- ③ 企業が安心して障害者雇用を進められるよう、企業内での利用者支援、企業への雇用ノウハウの提供を行う。

2. 基本方針

フォレスト（就労移行支援）

- ① グループワークによる、長期安定就労を目指した支援
利用者が安定して働く力を身に付けることを目的とし、日中プログラムの中でコミュニケーション力、課題解決力を身に付けることができるよう訓練を行う。
- ② 目標達成に向けた個別支援
就職に向けて障壁となる生活、就労上の課題については、目標設定をしたうえで家族、外部支援機関との連携により課題解決を行う。目標達成方法はできないことを指摘、改善するのではなく、できることを積み上げて目標に近づくことができるよう創意工夫を行う。
- ③ 外部講師との連携によるプログラム運営
お習字、ビジネスマナー、アサーティブプログラム、着こなし講座、ビューティー講座など、外部講師と協力することでより専門性の高い訓練プログラムを継続して提供し、就職後にその経験を生かすことができるよう働きかけを行う。

シード（自立訓練（生活訓練））

- ① 社会性向上のための支援
日中プログラムの中に自分の意見、考えを話す場、ルールに従って行動する場を設定。そこでの成功体験を積むことで自分以外の他人と折り合いをつけながら安定して行動する力を獲得できるよう働きかけを行う。
- ② セルフマネジメントのための支援
行動のコントロール（指示に従う、周りの状況に合わせる、継続して集中する）、感情のコントロール（ストレス、イライラ、落ち込み）などがうまくできない利用者に対して、場面に合わせた適切な行動を示し、日中プログラムの中でプラスのフィードバックを行うことで、達成感を感じながら行動改善を図れるよう支援を行う。

3. 活動内容

フォレスト（就労移行支援）

① 訓練プログラム

できることを積み重ね、自己肯定感の向上とコミュニケーション技術の獲得を目指す

ー内容ー

くもん学習（国語、算数（数学）、英語）手話、お習字、ビジネスマナー、アサーティブプログラム、SST, Think & Listen、グッド&ニュー、ルーレットプログラム、駅名トレーニング

② 企業実習

企業就労の経験が少ない利用者に対して、複数回の企業実習を実施し職場適応力向上のためのフィードバックと訓練を行う

1. 実習開始前の獲得目標の設定
2. 実習終了時の目標達成度合いのフィードバック
3. 実習終了後に事業所内での活動での意識づけによる行動改善

③ 職場定着支援

就職後も安定して就労できるよう、定期的に職場訪問を行い職場定着支援を実施

シード（自立訓練（生活訓練））

① 訓練プログラム

一人ひとりのペースを大切にしながら、集団参加への姿勢づくり、習慣形成を行う

ー内容ー

くもん学習（国語、算数）、金銭管理、清掃、ピグマリオン、塗り絵、お習字、アサーティブプログラム、ダンスプログラム

余暇支援

フォレスト、シード利用者と就職者に対して、毎月1回余暇支援を実施する

4. 施設の重点目標

① 企業実習による就労への意識付けと行動の改善

- ① 就労経験の無い利用者に対して、複数回の企業実習を実施することで働くことへの意識付けを継続して行っていく

② 行動改善のための家族支援

- ① 行動改善が必要な利用者に対して、本人だけで無く家族へのサポートを行うことで円滑に利用者支援を行うことができるようはたらきかける

③ フォレスト目標就職者数

15名

5. 利用定員

フォレスト 20名

シード 15名

6. 開所日・開所時間

月～土 9:00～17:00

7. 職員体制

フォレスト

管理者 1名

サービス管理責任者 1名

就労支援員 2名

職業指導員 2名

生活支援員 2名

シード

管理者 1名

サービス管理責任者 1名

生活支援員 2名

8. 研修・会議など

職員研修 その他 利用者の状況に応じてその都度必要な知識、技術習得のための研修への参加を随時行う

職員会議 毎月1回 第2金曜日